平成25年度　学校評価総括表　　伊丹市立西中学校

教育目標	確かな学力と豊かな心を持ち、健康でたくましい生徒の育成を図る　　～知育･徳育･体育･食育の調和のとれた人づくり～
重点目標	

項目		重点項目	具体的施策	達成目標	自己評価	成果と課題	改善策	学校関係者評価
学力の向上	基礎・基本の徹底と、授業改善	・基礎的、基本的な知識・技能を習得する。 ・授業力の向上と授業の改善をめざした校内研究会を実施する。 ・小中連携を進める	・教職員全員が授業細案を作成し公開授業を行う。 ・スモールステップの学習に努め、復習演習の時間を確保する。 ・学習状況調査の分析結果を各小学校に提供する。	・生徒アンケートにおいて「授業は、わかりやすく楽しい」と回答した割合が80%以上になる。また、「先生は事前に評価の仕方を説明し、学習の成果を適切に評価している」と回答した割合が85%以上になる。 ・わかりやすい授業を行う。				
	思考力・判断力・表現力の育成	・思考力、判断力、表現力を育てる授業を展開する。 ・読書活動を充実させ、語彙力の獲得を図る。 ・生徒、教職員ともに表現力を伸ばす。	・日々の授業に、思考を深める学習を位置づけるためにグループ討議や発表場面を取り入れる。 ・ICTを活用した授業を行う。	・表現力に富んだスピーチができる。				
	学習意欲の向上	・授業の展開を工夫し、学習意欲を向上させる。 ・家庭学習を充実させ、学習意欲を向上させる。	・シラバスを有効活用する。 ・独りで知識を吸収できる力をつける。 ・学習習慣を定着させるために携帯・スマホの所持率を小中の連携により、減少させる。	・生徒アンケートにおいて「自分は授業で積極的に発表しようとしている」と回答した割合が70%以上になる。 ・市内所持率平均の20%以下にする。				
豊かな心・健やかな体	自尊感情の育成	・生徒と教師間の信頼関係の構築 ・学級経営の充実。 ・基本的生活習慣の確立。 ・規範意識の向上を目指した指導を行う。	・職員間で、職員朝礼時に情報交換を行い、その日の称賛的生徒指導に生かす。 ・小学校に出向きあいさつ運動を行う。 ・Ｑ－Ｕの実施。 ・道徳ローテーション指導の実施。 ・総合的な学習の時間にきょうだい学級での取り組を取り入れる。 ･グループ編成した生徒たちが小学校を訪問し、英語の出前授業を行う。	・生徒アンケートにおいて「自分を大切にすることや他の人への思いやり」について、前年度74%を上回る。 ・保護者の回答で我が子の自立心の向上と品位を備えて成長したと捉える割合を80%以上にする。				
	体力の向上	・自ら進んで体力を向上させようとする生徒を育てる。 ・保健管理の啓発による丈夫な体づくりを行う。 ・校内の事故防止に努める。 ・食に関する指導に取り組む。	・保健委員会を開催し、PTAと連携した体力向上効果を目指す。 ・保体委員を通して健康管理の啓発を行う。 ・毎時補強運動を行う	・スポーツテストの伊丹市の目標指数を昨年を上回るために体育授業や課題活動を計画に進める。				

開かれ信頼される学校園	学校情報の積極的な発信	・積極的に学校情報を発信する。 ・PTA活動と協力して取り組む。 ・信頼感の醸成を基盤とした家庭・地域と連携をすすめる。	・携帯所持率と成績結果の相関を分析する。また、携帯・スマホに関する講演会を実施する。 ・学校だよりの発行やホームページの更新を積極的に行う。 ・生徒会などを通じて、ボランティアを募集し、地域の行事などに積極的に参加する。 ・土曜オープンスクールには、小5・小6の保護者にも来校を願う。また、学校補導連絡会開催時には、地域で健全育成に関わる方々の授業参観を行う。 ・PTA企画委員会で教員のスピーチを行い、教職員とPTA役員との顔の見えるよりよい関係づくり。	・情報発信を継続する。 時々、ホームページにアクセスする家庭を40%以上を目標にする。 ・地域の方々と生徒、職員が地域と学校間で双方向の活動が行われている状況を継続する。				

学校関係者評価総括

次年度に向けた重点的な改善点

自己評価の基準　A：目標を上回った　B：目標どおりに達成できた　C：目標をやや下回った　D：目標を大きく下回った